

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価	
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等				総合
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 各学校行事(榛名登山・体育大会など)に満足している生徒が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・榛名登山、文化祭及び体育大会等の伝統行事への取り組みをとおして人間的成長を図る。 ・生徒のニーズや実態に応じた補習を実施する。 	A	A	A	コロナウイルス感染症の第5類以降に伴って、各行事共コロナ前の形態で実施することができた。満足度においても生徒95%、保護者96%と高い数値となっている。次年度の課題としては、コロナ渦での経験を生かした行事の簡素化や効率化をより進めていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統ある行事をほぼ実施することができ、学校行事の満足度が、生徒、保護者ともかなり高く、アフターコロナにおける充実した行事の実施が表れている。学校が楽しいと感じられることは、将来の母校愛につながると思われる。 ・清掃活動の充実が見られてよい。 ・こみの分別等SDGsの取組をして欲しい。 ・生徒達が楽しみながら学校行事に参加していると感じた。榛名登山が秋になった事で、3年生の参加が少なかった事は少し残念だった。 	
		② 各種補習や延長学習等に満足している生徒が80%以上である。		<ul style="list-style-type: none"> ・安心、安全な学校生活が送れる環境を整える。 ・学級経営や普段からの授業作りの工夫を行うことで、生徒一人ひとりの居場所の確保に努め、有用感を持たせる。 	A	A			A
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	⑤ 生徒の実態を踏まえ、到達度に応じた学習指導を実施し、学習に対する達成感・満足感をもっている生徒が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケート等をもとに、授業の質的向上に努める。 ・少人数授業等により学力の定着と個に応じた指導を行う。 	A	B	A	新学習指導要領に沿った教育課程2年目となり、観点別評価を基にして、生徒の主体的活動を重視した授業展開がなされている。満足度においては生徒88%と目標を超えたが、保護者7%となり生徒が家庭で不満点を伝えていることが伺える。今後も研修等を実施し、質の高い授業を展開できるよう尽力したい。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習時間は時間数だけではないと思うが、数値目標なので、次年度も引き続き努力して欲しい。 ・しっかりと課題等を出してもらっているため、思ったほど学習時間は短くないのではないかなと思う。 	
		⑥ 1日当たりの平均学習時間が学年の数+1時間(全学年の平均として3時間)以上である。		<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの整理整頓を心がけさせることで環境美化の意識を育て、全員清掃を徹底する。 	A	A			A
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	5 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑦ 学年会議、教育相談係において、生徒に関する情報交換を月に3回以上行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・各会議で情報交換を密に行い、生徒の動向、変化を把握し、早め、かつ確実な対応を図る。 ・生徒たちの声に耳を傾け、主体性を重視し、自ら考え、判断できる生徒を育成する。 	A	B	A	各学年とも、週一回実施の学年会議において、学年概況、生徒個々の状況について共通認識を持ち、必要な対応をこまめに協議した上で、特に生徒指導部、教育相談係との連携を深めることで、生徒へのよりよい対応法を講じてきた。	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラー、教育相談係を活用し、職員の連携、情報共有を大切にし、希望に燃えて入学した渋女を卒業して欲しい。 ・いじめ問題に対する心配が、生徒、保護者にあるように思った。 ・いじめについては、非常に難しい課題だと思う。このことに対して一番大切なことはコミュニケーションだと思うが、家庭環境、学校環境、社会環境等によって、いじめは起こってしまう問題だと痛感している。しかし、人間形成の上で、大事な高校生活なので、保護者や先生、また地域社会と連携してコミュニケーションを重ね、いじめのない学校にして欲しい。 ・学校生活の中で、生徒達が提案した事に対して、先生方がしっかり応えてくれる環境は素晴らしいと思う。 	
		⑧ 学校生活に積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。		<ul style="list-style-type: none"> ・全職員がいじめに対する共通理解をもち、未然防止や早期発見に努める。生徒観察や情報共有を密にし、必要に応じてケース会議などを実施し、学校組織として対応する。 	A	A			A
	6 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	⑨ いじめを容認しない校風づくりと、いじめの未然防止・早期発見に取り組んでいると理解している生徒が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の方針をHPに掲載するとともに、通知を通じて保護者や関係機関との連携を深める。 	A	A	A	日々の生徒観察だけではなく面談やアンケート結果からの情報を共有し、いじめ問題対策委員会を核に対応することができた。未然防止に向けて、教職員への校内研修およびスクールカウンセラーとの連携を図り、組織として対応していく。		
	7 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑩ いじめに対する本校の方針や外部相談機関等が周知されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携を密にして生徒理解に努め、基本的な生活習慣の確立を図る。必要があれば、関係機関との連携も図る。 ・服装、マナー、挨拶が生活の基本であるという意識を徹底させ、「美しく生きる」を体現させる。 ・生徒会活動や部活動に積極的に参加するよう促すと共に、生徒の意見を取り入れて活動内容も充実させ、活性化を図る。 	A	A	A	PTA総会等を通じていじめの定義や学校の取り組みについては周知することができた。今後は、HPやオクレンジャーに対して生徒や保護者が必ず目を通す仕掛けをしていく。		
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	8 計画的な指導を行っていますか。	⑭ 大学説明会や進路講演会を2回以上行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・大学説明会やPTA学年部会での進路講演会などを計画的に実施する。 ・「進路の手引」の発行や「3年生に聞く会」の実施を適切な時期に行う。 ・「LHR」や「総合的な探究の時間」で進路学習を計画的に取り入れる。 	A	A	A	3日連続で欠席した生徒には、必ず家庭連絡をするなど教職員で共通理解をもち、対応できた。生徒の健康管理にも問題はあつたが、欠席数の増加が見られた。関係機関との連携を図り、情報共有を密にして対応が遅れないようスピード感を持って組織的・継続的にやっていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・大学説明会、大学見学旅行、大学教授による出前授業、アメリカ語学研修等々、生徒には大きな刺激となり、もう一歩先へ進もうと考える原動力になっていると思われる。 ・主体的な進路選択の取り組み「3年生に聞く会」は、良い取り組みだと思う。今後期待している。 ・1年生の頃から計画的な進路指導がしっかりとしてもらえたと思う。 	
		⑮ 先輩の受験体験や卒業生の就業体験を聞く機会を設ける。		<ul style="list-style-type: none"> ・服装、マナー、挨拶が生活の基本であるという意識を徹底させ、「美しく生きる」を体現させる。 	A	A			A
	9 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑯ 生徒会活動や部活動に参加している生徒の満足感・充実感が80%以上である。		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動や部活動に積極的に参加するよう促すと共に、生徒の意見を取り入れて活動内容も充実させ、活性化を図る。 	A	A			A
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	10 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑰ PTA総会・公開授業・学年部会など保護者への情報発信の機会を年3回以上設けるとともに、会報を年2回発行する。PTA総会・公開授業・学年部会へ積極的に参加しようとしている保護者が学年通信、進路通信等を年間20回以上発行、HP掲載し、生徒、保護者に役立つ情報を提供している。	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事に関する案内文書や資料をオクレンジャーを活用しながら、保護者へ情報が確実に伝わるようにするとともに各行事への参加についても生徒を通じて積極的な参加を呼びかける。 ・進路指導、学習に関する事例を中心に、生徒、保護者にとって有益な情報、また、生徒、保護者の関心が高いと考えられる学校生活の様子などを、速報性と正確さに配慮しながら提供する。 	B	A	B	オクレンジャーを活用しての通知方法については94%の保護者が満足していると回答している。この方法により、確実に保護者へ案内・通知・資料が届き、さらに回答を要するものも短期間で集約できるようになった。今後は活用範囲を広げていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の皆さんが、地域の公民館活動や地域の催し物に積極的に参加し、そのことがテレビや新聞で報道されることで、地域の方々から渋女を認識してもらえている。 ・PTAや保護者への取り組みは素晴らしい評価できる。評価項目に地域社会の情報発信はこの評価表で見えなかった。 	
		⑱ 生徒の理解を深め、授業の効率化を促進するために、ICT機器を活用した授業が70%以上である。		<ul style="list-style-type: none"> ・「LHR」や「総合的な探究の時間」で進路学習を計画的に取り入れる。 	A	B			A
VI 教育デジタル化に努めていますか。	11 ICTを活用した指導を行っていますか。	⑲ 生徒の学習内容の定着のため、ワークスペースやスタディサプリ等のICT教材を利用する生徒が70%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを効果的に活用する授業実践のため、職員間の情報交換を積極的に行う機会を作る。 ・授業公開週間を設け、他教科の授業参観をとおして、学校全体の授業改善が活性化されるようにする。 ・ワークスペースやスタディサプリ等のICT教材を活用した学習を促す。 	B	A	B	情報提示方法としてのパワーポイント使用率は高く、生徒とのやりとりにおいては、ワークスペースを活用する授業も多く見られた。生徒の満足度も96%と高い。しかし、まだICTを活用していない教員もおり、今後の課題として、全教員が活用できる環境を整えることが早急に求められる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教員がICTを使えるよう努力して欲しい。期待している。 ・ICTを活用した授業等で効率化が図られていると思う。しかし、欠席連絡をワークスペースにした事により、いつでも連絡ができる反面、休み易さにつながっている気がする。 ・オクレンジャー等で確実に案内文書が届くので情報をもらさなくなった。 	
		12 ICTを活用した業務改善を行っていますか。		⑳ ICTを活用した通知方法に、生徒・保護者の80%以上が満足している。	<ul style="list-style-type: none"> ・オクレンジャー、ワークスペースを活用した週番連絡や欠席連絡等を用いて、効率的で正確な情報伝達を行う。 ・ワークスペースやスタディサプリ等のICT教材を利用する生徒が70%以上である。 	B			A
VII 学校施設・設備の安全管理に努めていますか。	13 生徒の安全確保の観点から施設・設備を管理していますか。	㉑ ICTを活用した通知方法に、生徒・保護者の80%以上が満足している。	<ul style="list-style-type: none"> ・オクレンジャー、ワークスペースを活用した週番連絡や欠席連絡等を用いて、効率的で正確な情報伝達を行う。 ・ワークスペースやスタディサプリ等のICT教材を利用する生徒が70%以上である。 	A	A	A	オクレンジャー、ワークスペースを活用した週番連絡や欠席連絡等を用いて、効率的で正確な情報伝達を行った。生徒および保護者の満足度はそれぞれ94%と93%であった。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の施設・設備の安全管理は、先生、生徒、学校関係者で管理できる。しっかりと定期的な点検を行って欲しい。 ・しっかりと安全管理に努めていると思う。 	
		㉒ オンラインによるアンケートを年間3回以上実施している。		<ul style="list-style-type: none"> ・オクレンジャー、ワークスペースを活用した週番連絡や欠席連絡等を用いて、効率的で正確な情報伝達を行った。生徒および保護者の満足度はそれぞれ94%と93%であった。 ・ワークスペースやスタディサプリ等のICT教材を利用する生徒が70%以上である。 	A	A			A
VII 学校施設・設備の安全管理に努めていますか。	13 生徒の安全確保の観点から施設・設備を管理していますか。	㉓ 日常並びに定期的な安全点検・環境衛生点検を徹底し、不注意による事故は0件である。	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員による点検結果を集約し、不適切箇所の速やかな改善を行う。 ・職員が適切な初動態勢をとることで、生徒の安全や速やかな避難を確保する。 	A	A	A	定期的に安全点検を行い、不適切箇所は速やかに改善することができた。その結果、不注意による事故は0件であった。次年度も、事故等が発生しないよう、点検・改善を徹底したい。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の施設・設備の安全管理は、先生、生徒、学校関係者で管理できる。しっかりと定期的な点検を行って欲しい。 ・しっかりと安全管理に努めていると思う。 	
		㉔ 避難場所・避難経路を生徒・全職員が確認し、緊張感をもって避難訓練を実施し、参加している。		<ul style="list-style-type: none"> ・全職員による点検結果を集約し、不適切箇所の速やかな改善を行う。 ・職員が適切な初動態勢をとることで、生徒の安全や速やかな避難を確保する。 	A	A			A